



平成30年1月30日

各位

会社名 日本海洋掘削株式会社  
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎  
(コード番号：1606 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR室長 風間 直毅  
(TEL. 03-5847-5862)

### 固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、平成30年1月30日開催の取締役会において、以下のとおり、固定資産を取得することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 取得の理由

当社は、平成26年10月31日付「リース方式による海洋掘削リグ運用プロジェクト推進合意に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、東銀リース株式会社（本社：東京都中央区、以下「BOTL社」）と、シンガポールで建造するプレミアムクラスの新ジャッキアップ型リグ2基について、完成後BOTL社が組成する特別目的会社が所有主となり、当社または当社関係会社が両リグをリース方式で運用するためのプロジェクトを進めてまいりました。

しかしながら、この度、この内の1基「HAKURYU-14」について、リース組成ができなくなったため、予め合意していた取り決めに従い、両社協議の結果、BOTL社が組成する特別目的会社CYAN MARITIME S.A.（以下「CYAN社」）から当社が本リグを取得することを本日の取締役会において決議いたしました。

これに伴い、本日、当社はCYAN社から本リグを買い取る割賦売買契約を締結いたしました。

もう1基の「HAKURYU-15」については、完成引渡年月は平成31年1月末を予定しており、引き続きリース方式による運用を目指してまいります。

なお、リグ名「HAKURYU-14」及び「HAKURYU-15」は現時点では仮称であり、リグ完成後に正式なリグ名となる予定です。

#### 2. 取得資産の内容

資産の名称及び所在地	取得価額	取得予定日
海洋掘削リグ「HAKURYU-14」 (ジャッキアップ型) ※	約280億円	平成30年1月31日

##### ※概要

- ・リグデザイン PPL Pacific Class 400
- ・建造造船所 PPL Shipyard Pte Ltd (a fully owned subsidiary of Sembcorp Marine Ltd.)、シンガポール
- ・リグの主要仕様  
最大稼働水深400フィート (122m)  
最大掘削深度35,000フィート (10,668m)  
最大吊り荷重2,000kips (907トン)  
マッドポンプ2,200hp×3基  
BOP (暴噴防止装置) 最大使用圧力 15,000psi  
最大居住区収容人員 150名

### 3. 相手先の概要

(1) 名称	CYAN MARITIME S. A.
(2) 所在地	パナマ共和国パナマ市
(3) 代表者の役職・氏名	Director/President Mr. Yuichiro Shibuya
(4) 事業内容	船舶の売買又は賃貸業に関連する業務等
(5) 大株主及び持株比率	VERONICA MARITIME S. A. (BOTL 社の 100%子会社)
(6) 上場会社と当該会社の関係	当該会社とは資本関係、人的関係、取引関係はありません。また当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

### 4. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	平成30年1月30日
(2) 割賦売買契約締結日	平成30年1月30日
(3) 取得予定日	平成30年1月31日

### 5. 今後の見通し

当該固定資産の取得による平成30年3月期の業績に与える影響は軽微です。

以上